



社会福祉法人 明石恵泉福祉会
広報誌 2022年 冬号

幸せを生む施設 笑顔の恵泉
福祉・介護に輝きを求めて

きずな



品質保証

ISO9001 認証取得

明石恵泉福祉会は福祉サービスの質とご利用者、ご家族の満足度の向上を目指し「介護サービスの質を保証する、組織マネジメントの仕組みが整っていること」「その仕組みに基づいて作成されたマニュアルに従って施設が適切に運営されていること」が第三者認証機関に認められ「認証評価」を得ています。

■特別養護老人ホーム恵泉

発行 社会福祉法人明石恵泉福祉会

■恵泉第2 特別養護老人ホーム

編集 広報委員会

■恵泉第3 特別養護老人ホーム

刊行 令和4年2月

■介護老人保健施設恵泉

WEB <http://www.akashi-keisen.com/>

■ケアハウス恵泉・第2ケアハウス恵泉

所在地 〒674-0051

■恵泉グループホーム

明石市大久保町大窪 2818

■恵泉きずな



doing!

恵泉は あなたの「したい」を本気で考えます！



doing!

脳出血後遺症により片麻痺があるＴ様は「今できることをこれからも続けたい」という思いを心に秘めておられます。しかしながら、耳が聞こえにくいことや遠慮がちな性格から、職員に対してご自身の思いを話すことはほとんどありませんでした。

Ｔ様との心の距離を縮めるべく、職員同士でＴ様が好きなもの、お孫さまが大好きなことなど興味を持っていることを常に共有しあうようにしました。

また、職員が介助する際は必ず名前を覚えていただくように職員自ら自己アピールをするようにしました。

徐々に互いの気持ちりが寄り添うことで日々の関わりが増えました。日課のラジオ体操の後で職員と一緒に体操カードにサインするという新たな日課が増え、食堂に掲示している職員の写真付き出勤ボードを見て、どの職員がきているかチェックするようになりました。

今ではＴ様はほぼ全員の職員の顔を覚え、ご自身から職員にしてほしいことや相談も話していただけるようになりました。Ｔ様の笑顔を見るたび、受け身の支援では決して得られることのない、寄り添う支援の大切さを実感しています。



定年まで映写機を回す仕事をして、定年後の90歳になるまで自宅で猫3匹に囲まれてのんびり過ごしていたH様。施設に入所したことで、生活する上でいくつかの不安はなくなったけれど、知らない人と一緒に暮らす生活は思った以上に気を遣う。毎日レクリエーションに参加して、自宅で過ごしていた頃より忙しくなった。

そんな生活環境の変化から、「なにもしたくない」と訴えるようになったH様。思えば「施設で過ごすことが退屈と感じてほしくない」「充実した一日を過ごしてほしい」と息つく暇もない支援になっていたかもしれない。

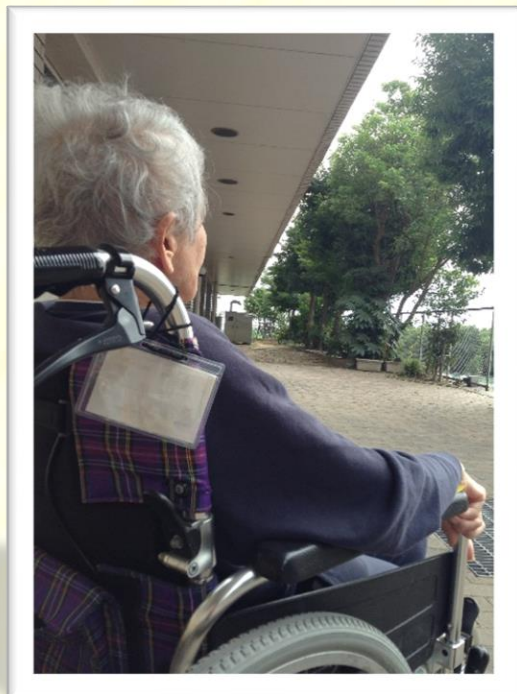
「H様にはH様のペースがある。」そんな当たり前のことに気づいてからは、ご本人が一息つける時間を作るように心掛けた。短い時間、何も話さず穏やかな時間を過ごしてもらうことで「ほっ」としたり、「ああ幸せ」と感じたりしている様子が後ろ姿から想像できる。

「一息つくことの大切さ」を教えられた。

「毎日何かをすること」がリハビリではない。

「その人が今日、昨日より少しだけ良い一日だと実感できること」がリハビリなのだと学んだ。

doing!



doing!

60歳で老人大学に入学しクラブ活動として社交ダンスを始めたY様。92歳までダンスを続けられたそうです。

普段は物静かに過ごされていますが、ダンスのこととなるとお話が止まりません。次第に立ち上がり、職員にステップを指導していただきます。

凛とした姿勢で足取りもしっかりされています。いつまでも好きなことは、勝手に体が動くものだと教えていただきました。



恵泉第2 特別養護老人ホーム

～施設の特徴～

- 明石市で唯一の認知症専門棟です。
- 要介護3以上の方が入所できます。
- 個室・2人部屋・4人部屋を用意しています。
- 認知症の方が安心して生活ができる環境を整えており、食事・排泄・睡眠など日常生活で不自由が無いようサポートしています。

居室の環境

自宅と同じような環境で過ごして頂くために畳の部屋や落ち着いた個室・2人部屋・4人部屋をご用意しています。

4人部屋でもプライベートに配慮し仕切り戸を使用した個別空間をご用意しております。



～入浴～

ご利用者様に合わせた入浴方法でご入浴していただけます。

4種類入浴方法があります。



ご入所の相談・お問い合わせはこちら

恵泉第2 特別養護老人ホーム

Tel. 078-938-6933

Mail : dai2tokuyou@akashi-keisen.com

黒田・都倉まで

～幸せを実感して頂くために～

～日常～



その方の日常生活を大切に考え、
立位訓練、歩行訓練を行っています。
ご利用者に合ったメニューを設定し
サポートしています。

立位訓練



書道

音楽や書道などのレクリエーションを実施しております。
誕生日の方には、その日に**フロア全体**でお祝いします。
このほかにも制作物、塗り絵などの作品づくりを行っています。



誕生日会



～食事～（おやつレク）



季節折々のおやつをご利用者に作って
頂く**おやつレク**を実施しています。ご自身で作られたおやつを食べるのを皆様
楽しまれています。



コロナ禍での活動



館内で秋祭りを開催しました。外出が困難となっている昨
今の中少しでも気分転換になって頂こうと感染対策を厳重
に行なったうえで開催する事ができました。
食べ物や祭りの雰囲気の皆様満足されていた様子でした。



～かけがえのない日々を支える～

正泉第2特別養護老人ホーム

施設トピックス



老健(東館)



芸術の秋という事で「文化祭 & 月明かりカフェ」を開催しました。
作業レクやリハビリ・書道での作品を鑑賞された後、お好みの飲み物とお菓子を召し上がって頂きました。

第三特養



今年遅くありませんでしたが秋祭りを行いました。今年はコロナ対策の為、参加者は利用者様のみにいたします。屋台もあり、職員による恵泉音頭の披露を行いました。

ケアハウス



ケアハウスでは季節にあったエントランス飾りを毎月作成しています。
今回は、秋の紅葉を作成しました。紅葉をジッと眺めたり、触ったみたり、皆様それぞれの秋を感じておられるようでした。

老健(西館)



西館では少しずつクリスマスの雰囲気が作られており、そのお手伝いを利用者様にもしただき、自分の作った飾りを見て「中々の出来やなあ」と自画自賛されていました。

第一特養



今年の冬はみかん湯を行っています。普段とは違いみかんのいい香りを楽しめるだけでなく効能について説明を行い、「ポカポカしてくるね」「いい香りするわ」等とされていました。

グループホーム



グループホームの庭で育て、秋に収穫したサツマイモを寝かせて熟成し、甘くなった頃を見計らって焼き芋をしました。
外は寒いけど熱々のお芋を皆で頬張れば心と体も温かい、そんな初冬の1日でした。



恵泉の「お正月」



「新年明けましておめでとうございます。昨年もお世話になりました。今年も宜しくお願いします。」と施設内に設置している神社にお参りされていました。



お正月には利用者様にお神酒をご用意しました。お正月ならではの味をじっくりと堪能されていました。そして昼食では豪華なおせちにびっくりされ、皆様とてもおいしそうに召し上がっていらっしゃいました。



新年が始まると皆様、書初めをされたい福笑いやカルタなどをされお正月を満喫されていました。皆様とても楽しそうに遊んでおられ、「もう一回やりましょう」と正月遊びを満喫されていました。



笑顔の恵泉

情報アラカルト



このコーナーでは、恵泉から皆様へホットな情報をお届けします。発行月によって内容は様々です。インターネットからのウェブサイトにも情報を掲載していますのでぜひご覧ください。

恵泉HPI/リニューアルのお知らせ

この度、当法人のホームページがリニューアルいたしました！今まで以上に見やすくなっておりますのでぜひ一度ご覧ください！

(アドレス) <https://www.akashi-keisen.com/>



明石恵泉福祉会ではコロナウイルス感染状況に応じて対面の面会を制限しております。リモート等

ご面会について

での面会方法等については各施設で異なりますので、下記にあります各施設の問い合わせ先にご連絡ください。



地域支援の活動のご案内

【きずな食堂】

恵泉では地域でお住いの65歳以上の一人暮らしの方を対象に、食事会を通じて地域住民同士の交流支援と健康体操や福祉相談を催しております。

※参加についてのご相談は担当者まで。

(問い合わせ先) Tel: (078) 936-8160 担当者: 小高

《施設の問い合わせ先》

- 介護老人保健施設恵泉 078-936-8003
- 特別養護老人ホーム恵泉 078-936-8160
- 恵泉第2特別養護老人ホーム 078-938-6933
- 恵泉第3特別養護老人ホーム 078-934-9111

- ケアハウス恵泉 078-938-2200
- 第2ケアハウス恵泉 078-938-2600
- 恵泉グループホーム 078-938-6988
- 恵泉きずな 078-948-2778

** 編集後記 **

オミクロン株が猛威を振っております。本来であれば年末年始に家族が一堂に集うという当たり前の行事も、感染防止のために自粛いただいている状況です。ご利用者の皆様が家族に会えずに感じている寂しさを少しでも和らげることができるよう、ご利用者に寄り添う支援をこれからも提供し続けていきます。

